

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公表番号】特表 2001-503780(P2001-503780A)

【公表日】平成 13 年 3 月 21 日 (2001.3.21)

【出願番号】特願 平 10-523200

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/138 (2006.01)

A 6 1 K 31/131 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/138

A 6 1 K 31/131

A 6 1 P 37/06

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 18 日 (2007.7.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 1 種またはそれ以上の薬学的に許容される希釈剤または担体と共に、遊離形または薬学的に許容される塩形である 2 - アミノ - 2 - [2 - (4 - オクチルフェニル) エチル] - 1 , 3 - プロパンジオールを含んでなる、臓器または組織の同種移植のレシピエントにおける移植片脈管疾患を処置するための医薬組成物。

【請求項 2】 2 - アミノ - 2 - [2 - (4 - オクチルフェニル) エチル] - 1 , 3 - プロパンジオール塩酸塩を含んでなる、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】 免疫抑制剤または免疫調節剤と共に使用するための、請求項 1 または 2 記載の組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】発明の詳細な説明

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【発明の詳細な説明】

(1) 6 頁末 4 ~ 2 行

「塩酸塩形の化合物 A 等の、式 I の化合物の 5 - 30 mg / kg / 日の投与により、無胸腺および正常胸腺 (euthymic) レシピエントの何れにおいても移植片の生存が長くなる。」とあるを「式 I の化合物、例えば塩酸塩形の化合物 A の 5 - 30 mg / kg / 日の投与により、無胸腺および正常胸腺 (euthymic) レシピエントの何れにおいても移植片の生存が長くなる。」と訂正する。

(2) 8 頁 12 ~ 13 行

「式 I の化合物 化合物 A 等」とあるを「式 I の化合物 例えば化合物 A」と訂正する。